

「よりよい沖縄」のために

～公共交通活性化の取り組み～



はじめに

路線バスなどの公共交通は、渋滞緩和、健康増進、安心・安全、CO₂削減など、私たちの社会に重要な役割を担っています。

沖縄県では、公共交通の活性化を図るための各種対策を進めております。

そこで、この資料を通じ、県民のみなさまに路線バスを始めとする交通問題についての情報提供を行い、収集したご意見を参考に公共交通の活性化に取り組みたいと考えております。

みなさまのご意見をお聞かせください。

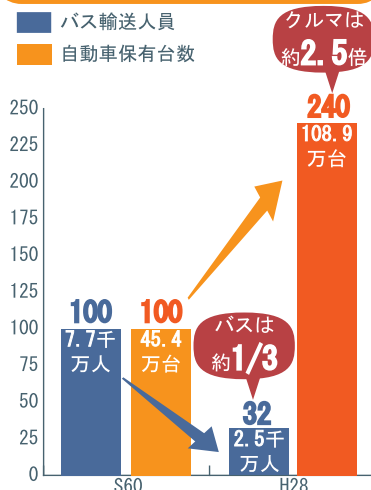
1 路線バスの現状と課題

沖縄県では急激な自動車利用の増加とバス利用者の減少により、路線バス事業をとりまく環境が厳しくなっており、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の一層の低下が懸念されています。

このような問題を解決するため、沖縄県ではバスなどの公共交通を活性化させる取り組みを行っております。その結果、バスの利用環境の向上や、バス利用者の減少に歯止めがかかりつつあると考えています。

しかし、依然として自動車の利用が多くさらなる公共交通活性化への取組みが必要となります。

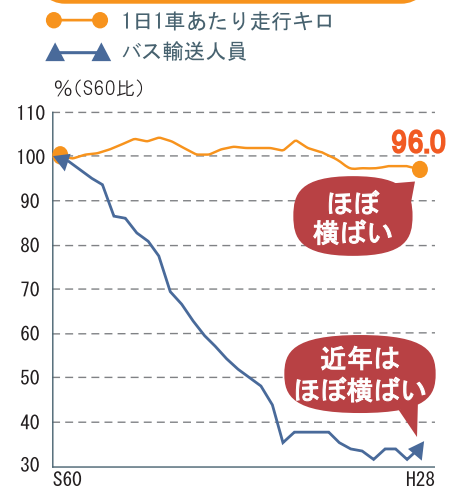
バスの輸送人員と自動車保有台数の変化



(出典/バス輸送人員：沖縄統計年鑑・自動車保有台数：交通白書)

※1：グラフ内の数値は、昭和60年のバス輸送人員、自動車保有台数を100としています。

バス1台が1日で走行する距離と輸送人員の推移



(出典/運輸要覧)

2 なぜ公共交通の活性化が必要なのか？

渋滞緩和

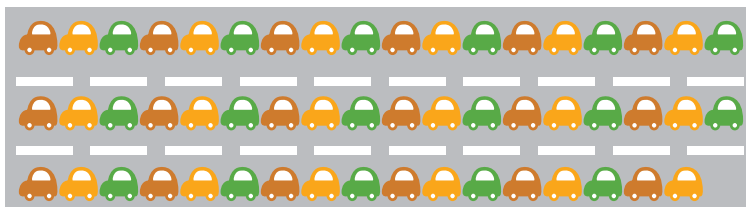


交通渋滞緩和のために公共交通を利用しましょう

- * 沖縄県ではマイカー通勤の車の92%が一人乗りです。
- * 路線バスは定員53名なので、車の約10分の1のスペースで同じ人数が移動できます。
- * 自動車利用を控え、バスに乗り換えることで渋滞を減らすことができます。

通勤者53人が1人乗りの車を利用した場合と
通勤者53人がバスを利用した場合

従来の車線／自動車53台



バスレーン／大型路線バス1台(定員53名)



健康増進



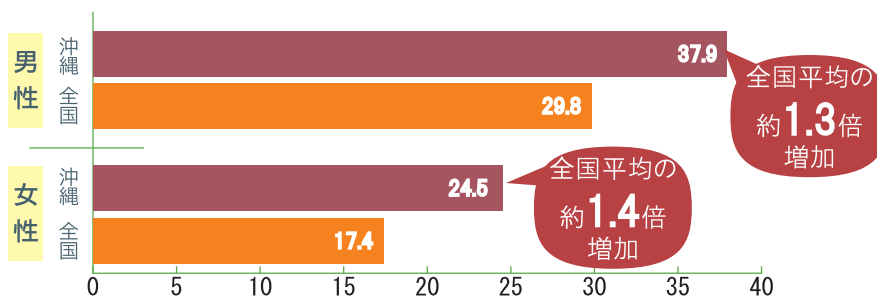
健康のためにもバスやモノレールの公共交通を利用しましょう

- * 沖縄県では公共交通利用率が全国より低く、バス停や駅まで歩く習慣が定着していません。
- * また、肥満者の割合は全国より高い状況です。
- * 健康のためにも公共交通を利用してバス停や駅まで歩くよう心がけましょう。

バス・モノレール等公共交通の利用率



肥満者の割合(2018年・20歳以上)



(出典/平成28年県民健康・栄養調査)

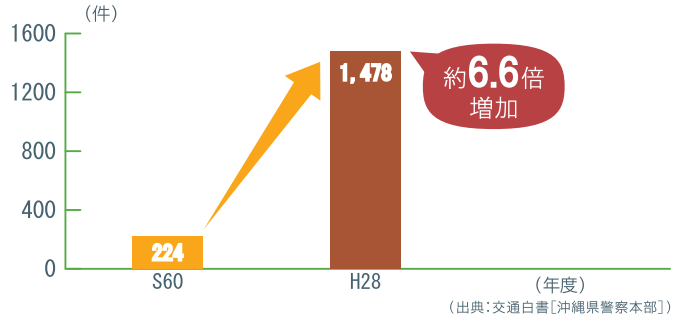
安心・安全



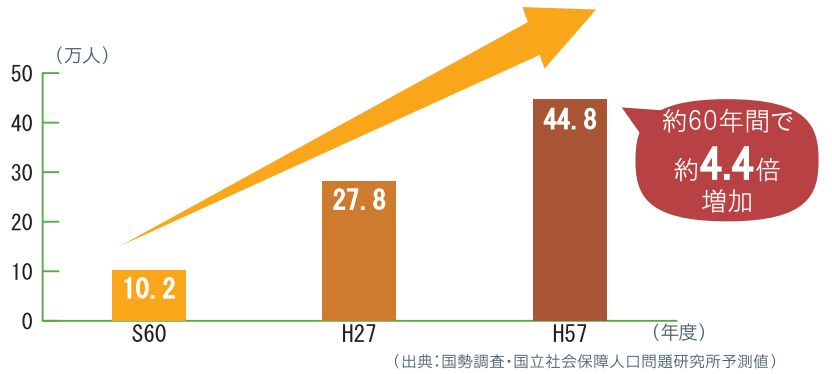
高齢者をはじめ、県民が安心して移動できる交通環境が必要です

- * 沖縄県では、高齢者が起こす交通事故が増加し、高齢者人口も急激に増加しています。
- * 高齢者が運転しなくても自由に移動できるよう、公共交通を整備する必要があります。

高齢者の事故件数



高齢者の人口



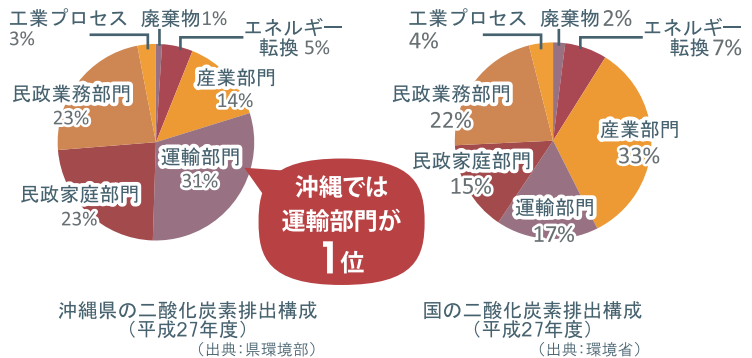
CO₂削減



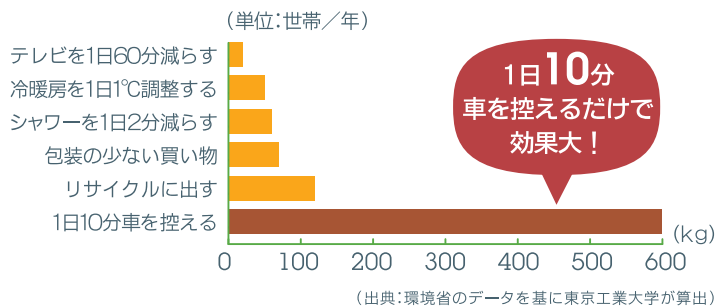
環境にやさしい公共交通を利用しましょう

- * 沖縄県では、運輸部門からのCO₂排出量の割合が全国よりも高い状況です。
- * 車利用を控えると、大幅なCO₂削減が期待できます。
- * 車利用を控え、公共交通を利用して環境にやさしい生活を送りましょう。

クルマなどのCO₂排出量



行動別による1年間あたりのCO₂削減量



* CO₂: 二酸化炭素の略称。温室効果ガスの排出量を示すための指標とされている。CO₂の増加は地球温暖化の原因の一つとされている。

3 公共交通活性化への取り組み

基幹バスシステムの導入に向けた取り組み

● 基幹バスシステム (Bus Rapid Transit:BRT)の導入

- * 過度な自家用車利用から公共交通への転換を促し、交通渋滞の緩和、健康増進、安心・安全、CO₂削減を達成するには利便性の高い公共交通が必要です。
- * 沖縄県では、利便性の高い公共交通として、久茂地からコザまでの間にバスレーンを走行し、速く、正確に、多頻度で運行する基幹バスシステムの導入に向けて取り組んでいます。
- * 基幹バスシステム導入に向けた取組内容
 1. バスレーン拡充
 2. バス停のグレードアップ
 3. ICカード(オキカ)の導入
 4. ノンステップバスの導入
 5. 電光表示器(車内案内・行先案内)
 6. バス現在位置検索(バスロケーションシステム)
 7. バスレーン沿線の安全対策(生活道路対策)

基幹バス58号ルート(久茂地~コザ)検討区間



※ バス優先レーンは、一般車両がレーン内を走行できますが、バスが接近してきたら速やかにレーンからでなければいけません。また、バスが接近してきてもレーンから出ることが難しい渋滞時には、一般車両の走行が禁止されます。

公共交通活性化に向けた取組み

バス停のグレードアップ



ICカード(オキカ)



ノンステップバス



電光表示器 (社内案内)



電光表示器 (行先案内)



バス現在位置検索 (バスロケーションシステム)



バスレーン沿線の安全対策 (生活道路対策)

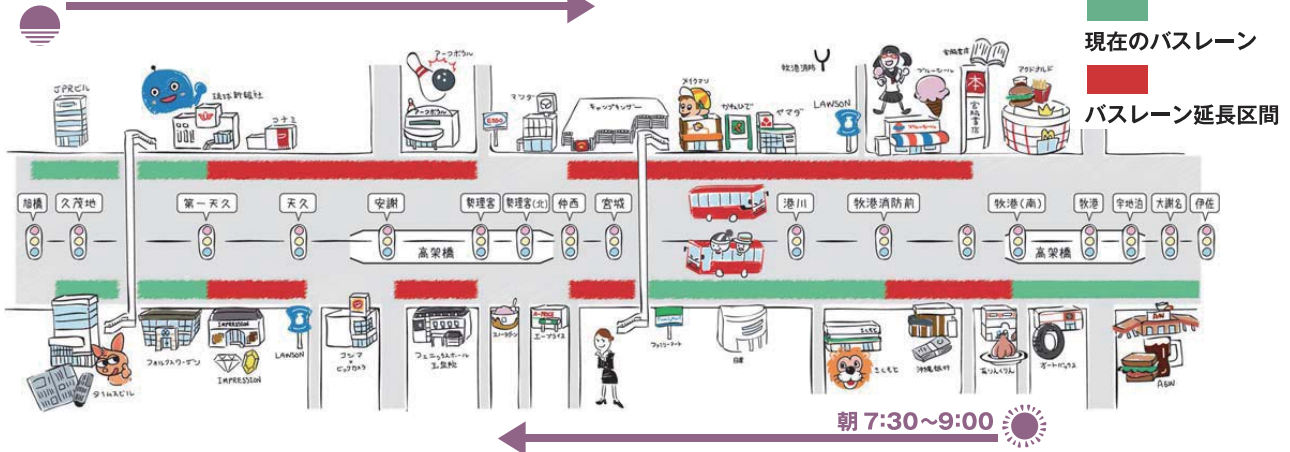


4 これまでのバスレーン延長の効果

速く、正確に運行するバスの実現には、バスの専用走行空間を確保するバスレーンの拡充が必要です。そのため、平成27年2月より国道58号のバスの定時速達性の向上を目的としてバスレーン延長を実施しました。

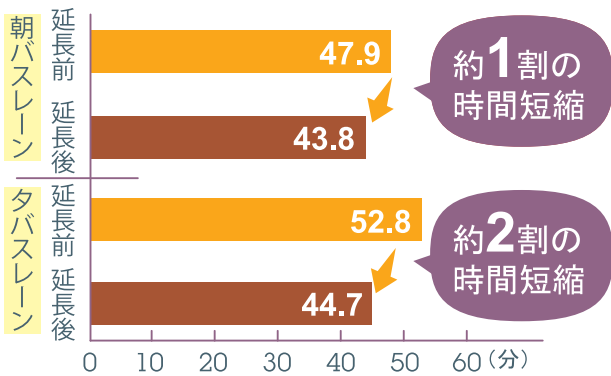
夕方は、宜野湾向けのバスレーン区間を2.8キロから大きく延長し、総延長を7.4キロとしました。

夕方 17:30~19:00



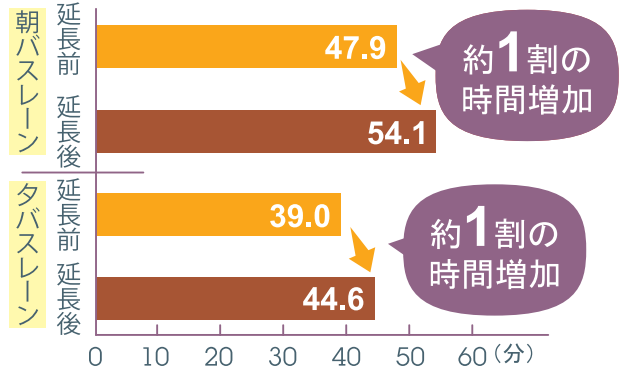
朝は、那覇向けのバスレーンの途切れた区間を繋ぎ、8.8キロから10.4キロに延長しました。

バスの所要時間



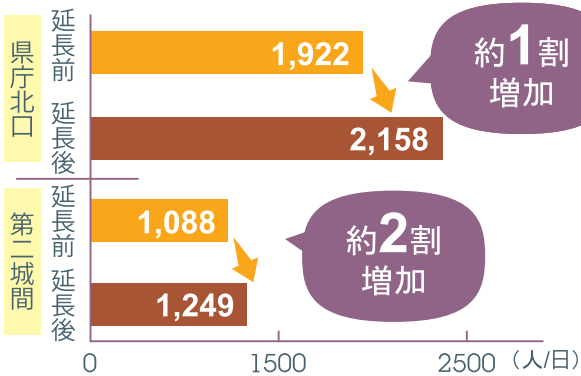
(バスGPSデータを用いてH26.11、H27.11の平日1ヶ月の平均値を算出)

一般車両の所要時間



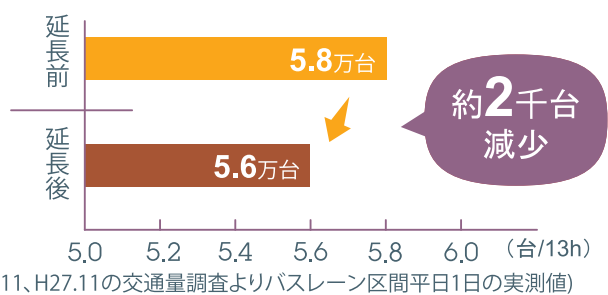
(国の機関と同じデータを用いてH26.11、H27.11の平日1ヶ月の平均値を算出)

バスの利用者数



(H25、H27の調査より、県庁北口、第二城間バス停平日1日の実測値)

国道58号の交通量

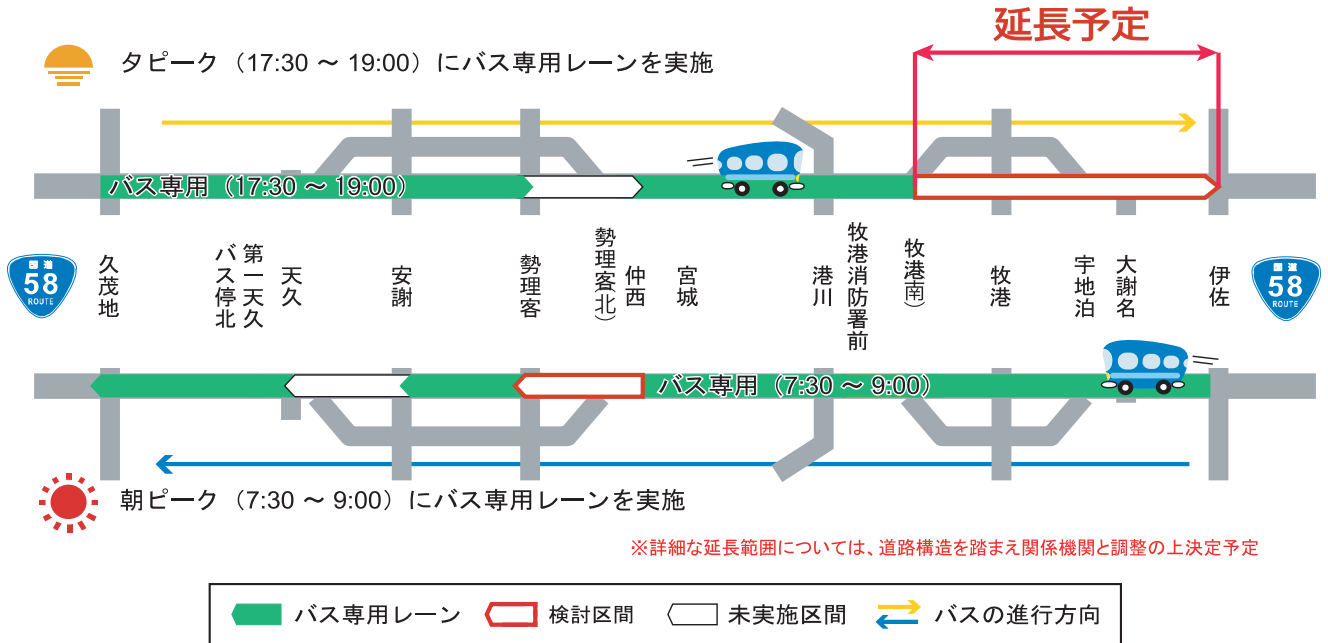


(H26.11、H27.11の交通量調査よりバスレーン区間平日1日の実測値)

- * 第1段階バスレーン延長により、バスの所要時間の減少や利用者数の増加等の整備効果が見られた反面、一般車両の所要時間が増加するなどの効果が見られました。
- * 車利用の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、バス利用環境改善に向けた取組にご協力をお願いします。

5 国道58号バスレーン延長の予定

* 今後国道58号の夕方ピーク時バス専用レーンを伊佐まで延長する予定です。



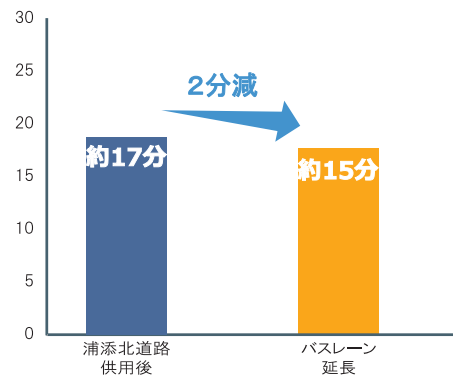
バスレーン延長の効果・影響

* 今後実施が予定されているバスレーン延長によって、バスのさらなる定時・速達性の向上が見込めます。



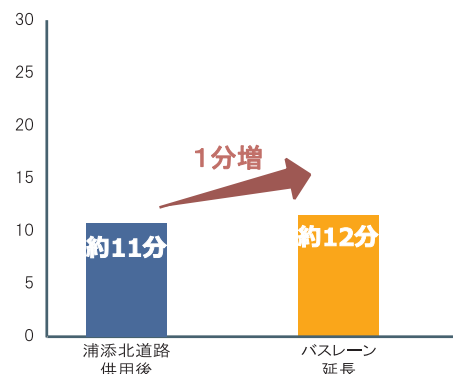
バスの所要時間(分)

牧港⇒伊佐



乗用車の所要時間(分)

牧港⇒伊佐



浦添北道路等の開通により渋滞が改善

*平成30年3月に臨港道路浦添線、浦添北道路、港川道路が開通しました。この道路の開通後には、並行する国道58号から一部交通が転換し、その結果国道58号の渋滞が改善されました。

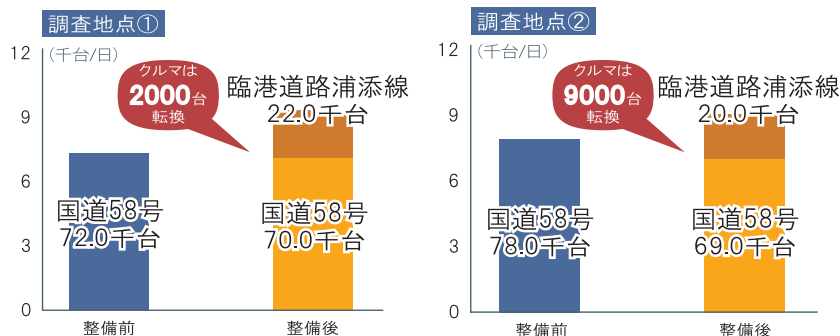


出典/沖縄総合事務局

国道58号断面交通量



出典/H30 南部国道事務所 記者発表資料



6 バスレーン延長に関するQ&A

Q

1

なぜ、バスレーンの区画を延長するのですか？

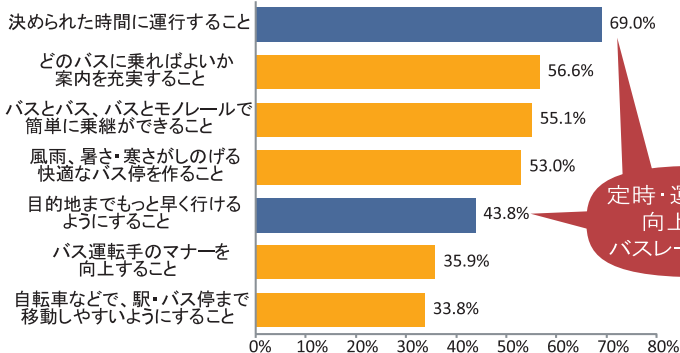
A

1

沖縄県民の多くが、公共交通が時間通りに運行することや、目的地まで早く行けることを望んでいます。バスの定時性及び運行速度も向上させるためにバスレーンの延長が必要となります。



公共交通活性化の為、主眼を置くべき取組み



定時・運行速度の向上のためバスレーンが必要

出典/H27 公共交通活性化に関する調査検討業務及び発注者支援業務 P調査結果

Q

2

バスの案内の充実、運転手のマナーの向上、料金割引等、他にもやるべきサービスがあると思いますが、それはやらないのですか？

A

2

バス事業者や県、市町村では、バスなどの公共交通が活性化するような取組みを行っています(詳しくは4ページをご覧ください)。

Q

3

バスレーンの区間を延長すると、自動車は不便になりませんか？

A

3

バスレーン延長後の効果を予測すると、一般の車両が少々遅くなる結果となりました(詳しくは6ページをご覧ください)。車利用の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

9 公共交通の利点

公共交通を賢く使うと、
Aさんの家族はこんなに変わりました!



Before

今までの交通行動

After

公共交通を利用した結果

お母さん
(Aさん)



送迎が減ったおかげで
ゆとりができ、にこにこ!

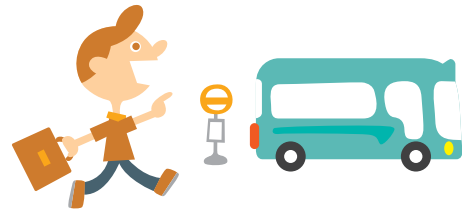


お父さん

車利用が多く
太り気味。健康診断で
運動するように
言われた。



公共交通を利用したので歩くようになり、
体重が5kgも減った!



おばあさん

週2回の病院通いは、
クルマで
通院している。



視力が弱くなったので、安全なバスで
病院に行くようにしたら家族が安心!



高校生の娘

お母さんに送迎して
もらっている。
お母さんの時間との
調整が悩みのタネ。



バス通学を始めたことで、部活や友達との時間も
自由に調整できるようになったので楽しい!



バス通勤を試してみた人に意見を聞いてみました!

実際にバスに乗ってみると
「所要時間が読めない」
というものではないことが
わかった!

アフター5に
お酒が飲むことが
できて良かった♪

渋滞時のストレスが少ないし、
バスレーンのある区間では
車よりも速いね!

乗車中は考え事をしたり、
本を読んだり自分の
時間ができる!